

1. コース選択について

(1) コース選択の時期について

1年次は、自らの研究・プロジェクトのテーマに関連する授業を幅広く受講します。2年次の4月には、研究活動を重視する「情報学研究コース」、プロジェクト実践を行う「地域情報プロジェクトコース」のいずれかに所属することになります。コースの決定は希望調査によりおこないます。

(2) 履修科目、成果物及び修士号について

コースが決定したら、コースに応じた科目を履修することになります。以下の表の通りです。

コース名	情報学研究コース	地域情報プロジェクトコース
履修科目	地域情報学特別研究Ⅰ 地域情報学特別研究Ⅱ	地域情報プロジェクト実践Ⅰ 地域情報プロジェクト実践Ⅱ
成果物	修士論文	プロジェクト実践報告書
学位	修士（情報学）	修士（学術）

※ コースを選択した時点で、履修科目、成果物、目指す学位が決定します。2年次の4月に、情報学研究コースを選択した場合、地域情報学特別研究ⅠおよびⅡを、地域情報プロジェクトコースを選択した場合は、地域情報学プロジェクト実践ⅠおよびⅡを履修することになります。

2. 最終成果物の作成と審査について

(1) 最終成果物の作成について

本専攻を修了するためには最終成果物として修士論文、プロジェクト実践報告のいずれかを提出しなければなりません。

(2) 審査について

最終成果物の審査は概ね以下の方法によりおこないます。

成果物	審査方法
修士論文	修士論文審査を行う。修士学位論文に基づいて、主査・副査による論文審査を行う。
プロジェクト実践報告	プロジェクト実践報告書についても、修士学位論文と同様に修士学位審査を行う。原則として、対象とした社会課題のステークホルダーが参加できる公開の場でプロジェクトの成果報告を行うことを要件とする。

3. 最終成果物提出までのスケジュール

年次	月	情報学研究コース 修士論文 (修士 (情報学))	地域情報プロジェクトコース プロジェクト報告書 (修士 (学術))
1年	4月 ～ 3月	1年次では以下の③点について取り組む。 ① 仮テーマと研究内容を指導教員と相談し、決定する。 ② ①に基づき、履修科目を決定する。 ③ プロジェクトおよび研究活動のためのスキルの習得、文献購読法、調査法、データ解析法などを学ぶ。 1年次が終了(2～3月ごろ)するまでに、所属コース、最終成果物(論文 or 報告書)を決めておく。	
2年	4	研究テーマと所属コースの決定	
	5	研究活動	
	6		
	7		
	8		
	9	中間報告会	
	10	研究活動	
	11		
	12		下旬：報告書概要の提出
	1	中旬：修士論文のタイトル提出 下旬：修士論文提出	中旬：報告書タイトル、報告書提出 下旬：随時、報告会開催(地域の関係者に一般公開の場を設ける)
	2	中旬：修士論文発表会	中旬：主査、副査による報告書審査
	3		

※スケジュールは変更となることがあります。